

# 鐘華会九州支部だより

九州支部だより 第16号  
発行 2009年5月15日  
発行者 中村 晃

## ほろ酔い気分で酒蔵めぐり

上野 賢二

今年も2月11日(祝日)に地元(久留米市城島町)を中心に、恒例の「城島酒蔵びらき」が開催されました。この地域の歴史ある8蔵元(一番の老舗は270年前に創業)が参加し、お客



様で溢れ返りました。

私は昨年よりこのイベントの実行委員長をしています。約半年前から実行委員会を組織し、2月まで突っ走ります。会社と違いメンバーは蔵元の社長

様に新酒と地元の物産を楽しんで頂く九州最大、かつ先駆けの酒蔵びらきとなっています。イベント会場と歩いて



さん、商工会、市役所、婦人会、青年部、ボランティアと幅広く、皆様の合意を得るのは大変です。しかし、これも地元へ

行ける近さで風情ある蔵元会場の両方が楽しめます。

今年は来場者4万人(公称、実数は約5万人)に急増しました。地元のテレビ、ラジオ、雑誌等のメディア戦略も奏功し、人口1万4,000人の小さな町がほろ酔い気分のお客



の恩返しのつもりでやっています。カネカ、鐘華会の皆様も来年2月11日(祝日)は「城島酒蔵びらき」にお出で下さい。お待ちしております。

## 葦ペン画のその後と福岡城

青木 得志

月一回の風景写生会には殆ど参加しています。半年ごとに写生場所が変わり、最初の年の大濠公園と福岡城、二年目の九大箱崎キャンパスと博多ベイサイドプレイス・マリンメッセ地区につづき今年三年目は太宰府市の観世音寺に出かけているところです。



福岡城 汐見櫓 (2月)

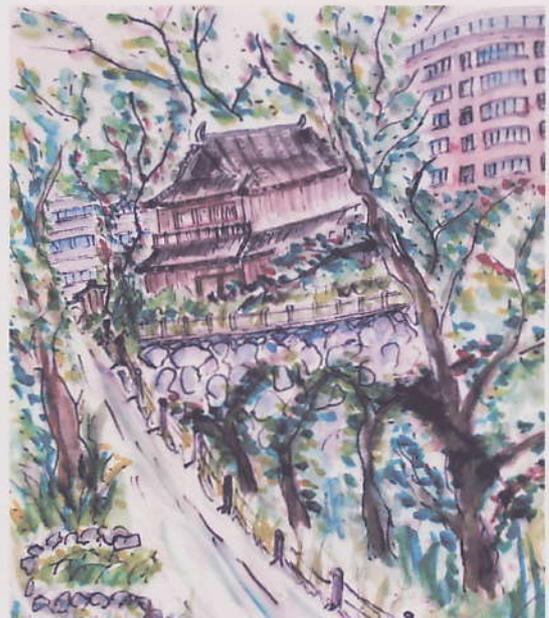
今回は福岡城について本や講演会で知ったことを紹介しながら二年目の福岡城内の写生数点を添えることにします。

慶長5年(1600)の関ヶ原戦の軍功により黒田長政は筑前五郡を与えられ旧小早川氏の居城であった名島城(福岡市東区)に入城。三方を海に囲まれ堅固な構造ではあるものの知行高52萬石の領国経営の中心としては条件が悪く、如水・長政父子は現在地に移転築城(1601~08)

を決めた。名島城は破却され城下の武士・町人や城郭施設が移された。

黒田氏の出生地備前国福岡の里に因み福岡城と名付けられた。那珂川で区切られた東隣の中世期海外貿易都市として繁栄してきた博多区と接し西側は室見川までの博多湾に面する地域である。江戸時代を通して福岡・博多は「両市中」と呼ばれ、ともに町奉行の管轄下にあり城下町として存在したが、それぞれが独立した町であった。

宝暦~天明期(1751~88)の「博多御城下図」によれば城内に入るには北側の上の橋、下の橋、南側の追い廻し門しかなくまた大中小の天守台



福岡城 祈念櫓 (5月)

を中心にして本丸、二の丸、三の丸があり周囲を47の櫓を持つ石垣と堀で固めた堅牢な構えであった。城の象徴となる天守閣については重臣への着工の書状や隣藩の小倉細川氏家史料にみられ、着工は推定されるものの完成を明確に記述した藩関係



満開の桜野天守台石坂(4月)

ながらの散歩を楽しめる。維新により明治4年、藩主が退出して城としては終焉した。同7～昭和20年の終戦まで城内には歩兵第11連隊、第24連隊が駐屯したが、軍管理から解放され旧三の丸には平和台球場や市陸上競技場が設置され、昭和31年に

文書は見出されていない。絵図にも天守閣は空白となっている。黒田家側の幕府に対する機密や配慮または隠密が派遣される前の建築中に破壊されたのではないかと推測されている。

三の丸北側には重臣の屋敷がおかれ堀の外側には武士階級とその生活を支える諸々の商工業者が配置された。城内の西側の堀は東西300間(540m)南北310間(564m)の大堀であった。

築城時には草加江と呼ばれる入江であり、北の海側を埋め立て堀として利用している。大正末期から昭和2年の東亜勸業博覧会用地として大濠の周辺を埋め立てた。その跡地が現在の大濠公園となり市民の愛好の場所となりマラソンや鳥の声を聞き



大濠公園浮見堂(6月)

城跡は国史跡に指定された。さらに62年には球場の改修中に古代の迎賓館「鴻蘆館」跡が発見され歴史的な重要性が認められて、球場を北西の新しい埋め立て地にヤフードームとして移し、現在も発掘が続いている。最近、鴻蘆館から太宰府政庁へ伸びる直線の官道が途上の幾つかの場所で発見され見学会や講習会が行われる。明治22年(1889)の福周市誕生後も幾度も市名変更の建

議が出されたが、変わらなかった。そのかわりにJR九州の駅名は博多駅とされた。遠方や外国からの旅行者には市名と異なる中心駅名に違和感があるが、のことがかえって福岡と博多の成り立ちの違いを伝えている。

## 九州カネライト訪問&amp;懇親会

武田 敏 光

恒例行事として、毎年春季に関係会社を訪問し九州地区の出向者との交流会を通じて、カネカ現状の認識を深めている。

今回はメンバー8名で3月17日九州カネライト㈱を訪問し、稲岡社長より状況説明を受けた。昨今の世界同時不況の影響を受けながらも、収率アップ等への取り組みを通じてコストダウンを成し遂げられ着実に利益を上げられていることには感心させられた。

また今回は㈱ソーラーサーキットの家の小林社長から新しい事業の動きも聞くことが出来た。ソーラーサーキットは省エネ住宅としては脚光を浴びることを期待されているところであるが、一般住宅に比べて価格が高いのが難点だとの説明があった。

更にはカネライトフォーム課の桑嶋氏より現状の課題についての説明も受けた。特に将来は非住宅分野へも取り組みが必要になるとの話には現状の課題の深刻さを痛感させられた。

その後、親睦を深めるために、近在の関係会社より現役メンバーも加わり20名が一堂に会して、近くの居酒屋で懇親会を行なった。その中で各自の近況を語り合う中でそれを肴に大いに盛り上がった。



日 若 屋 に て

## 第1回山九会ゴルフコンペ

上 野 與 志 隆



別府の森ゴルフ倶楽部にて

鐘華会九州支部ではゴルフ同好者で「山九会」（山口県の山と九州の九）を結成し、春と秋支部総会時の年二回、ゴルフコンペを持ち回りでしょうということになりました。構成メンバーは従来とは変わりませんが、昨年秋の支部総会で会長より優勝カップを準備していただいたので、会の名称を決めて運営することとしました。

早速この春4月17日、地元薬師寺さんのご手配で、別府城島高原、志高湖近くの「別府の森ゴルフ倶楽部」で第一回が開催されました。

当日は山中事務局長さんにお手数をかけ、また丁度関西より阿蘇、高千穂旅行中の池野さん、元トキワ商事の山本さんが参加され計11名3組で天気に恵まれた楽しいコンペでした。

今後とも事務局だけでなく、地元ホストの方にもご迷惑をおかけしながらのコンペになろうかとは思いますが、鐘華会他支部の方々の参加を戴きながら、山九会を長く続けて行きたいと思っております。

メンバーの皆さんはやる気満々のご様子で、次回は秋、支部総会と兼ね合わせて、山口の宇部カントリーであいまみえることとしました。

## 近 況 報 告

(永井さん以外は今年3月の職場訪問の返信で届いた近況です 敬称略)

**永井 辰夫**



もみじが紅葉を始め、朝夕の冷えこみも厳しくなってきましたが如何にお過ごしでしょうか。ご無沙汰ばかりで誠に申し訳ない次第であります。

昨日、我が家の米すりが終わりホットしているところです。米選機で米が詰まったり、あと少しの所になってからベルトが切れたので買出しに走り回ったりして約一時間遅れたけど、雨がポツポツ降り出したところに農協の収納車が来て無事出荷出来ました。

ところがどっこい、過去最低の出来高になってしまいました。肥料の施肥量・水の管理・追肥のタイミング等々うまく行かなかった結果でしょう。会社を定刻で帰れたら色々工夫も出来るのに・・・と思いつつ、農家の皆さんから電話があればニコニコ笑顔で出向き、土曜・日曜も関係なく修理に走り回っています。

長男坊の就職先が関東方面に決まりました。次男坊は陸上関係の高校に行きたい模様です。嫁さんはJAの農業祭で精肉販売の担当なので張り切って出かけていきました。私はこれから、コンバイン・糶摺機・乾燥機のアフターケア（鼠にかじられない様に清掃・注油）です。皆さんにいつの日か会えるのを楽しみにしてガンバリます。(H20. 11. 16)

(以上は昨年の例会後に届いた近況です)

3/2 長男卒業式。3/5.6 次男入試で阿久根市まで送迎。3/12 次男卒業式。3/13 次男合格(?) 発表で阿久根市まで送迎。もうこれ以上会社を休めません。

**江崎 昭三** 花粉症で困っています。残念ですが欠席します。皆様によろしく。

**薬師寺 是文** 建設業協会津久見支部に席を置き6年目になりました。

**池田 広治** この不景気の中でも、家を建てる人を探す因果な仕事。奮起して頑張っています。

**山中 俊一** 元気で仕事をしています。

**森田 範行** 3月17日は、顧客との予定が既に決まっており、欠席します。昨年の値上げ局面から値下げ局面に反転して、厳しい状況が続きます。

**橋本 滋** 春休みで、東京から孫が来福していますので、今回は欠席させていただきます。

**小城 一洋** 熊本での例会に参加して、喜び 懐かしく元気が出ました。今回参加は無理ですが。皆楽しく旧交を暖めてください。

**石原 晋一郎** 昨年より陶芸の新しい先生に巡り合えて新しい意欲を燃やしています。3年間年賀状に写真を使っていたのですが今年から陶芸作品に戻しました。取敢えず県展・市展の入選を目標に最後?の一頑張りをしたいと思っています。

**後藤 祐吉** 日々色々の私用に追われ過ぎています。出席できませんが皆様によろしくお伝えください。

**廣政 誠** 自治会熟年部会の「ソバ打ち・試食会」がある為欠席いたします。今年は幹事で色々忙しくなりそうです。

**上野 賢二** 実行委員長をやっていた「城島酒蔵びらき」が過去最高の来場者で無事終わりほっとしているところです。

**青木 得志** 寒い日が続いていますが元気に過ごしています。

**市木 丞** 日々平凡に元気に過ごしています。

**榎崎 賢治** 齢のせいか最近の寒さが身にこたえ家にこもっています。天気が良く暖かい日は家の廻りの草取りをしています。

**川上 義人** 熊本の桜の開花予測が3/15と発表されました。地球温暖化が激しい勢いで進んでいることが実感されます。昔は入学式に桜でしたが、これからは卒業式に桜と云われる事でしょう。相変わらずゴルフに励んでいます、全くスコアに反映できません。

**武田 敏光** 会社は益々厳しい年度に向かってスタートを切りました。私も自分の衰えをカバーすべく趣味のスポーツに頑張り始めました。

**上野 興志隆** 中心市街地活性化のボランティア活動は言い訳ばかりする負け犬の商店街と無能な町内会長や無気力な住民を相手にする難しい仕事です。本業の貸ビルは空室ばかりで身が細ります。ゴルフをすれば力が入ってスコアがまとまりません。兎角世の中はママナラヌことを思い知らされます。

**中村 晃** 相変わらずゴルフ恐怖症の悪夢にうなされています。お酒をおいしく飲むためのジム通いに励んでおります。

## 【平成21年度支部活動報告】

◇既の実施した行事

年	月	日	活動内容
21	01	28	鐘華会役員会
	02	05	支部幹事会
	03	17	職場訪問・懇親会(8名/20名)
	04	17	第1回山九会 GC(別府の森 GC)11名

◇これからの予定

年	月	日	活動内容
21	05	15	支部だより第16号発行
	07		(鐘華ニュース第61号)
	08		(鐘華会役員会)
	08		支部幹事会
	11		支部例会
	11		第2回山九会 GC(宇部CC)

(特記事項)

- \*3月の職場訪問は九州カネライトへ。
- \*ゴルフ幹事が後藤さんから上野(興)・山中さんに交代。山九会(山口・九州の会)として再スタート。(詳細は別添記事)
- \*本年度支部総会は山口を予定。

## 【支部活動費・20年度報告及び21年度予算】

項目	20 予算	20 実績	21 予算
支部だより通信費等	10,000	9,044	9,800
支部例会写真代等	5,600	6,423	6,500
職場訪問通信費	3,500	3,680	3,500
幹事会交通費補助	10,000	0	10,000
支部例会案内	3,500	3,200	3,500
合計	32,600	22,347	33,300

(特記事項)

- \*20年度は期の途中で予算化されたため、幹事会交通費補助が21年度に繰り越し。

## 【定例役員会報告】

◇平成21年1月28日(水)14時半よりカネカ芦屋荘にて定例役員会が開催された。

◇主な内容は下記の通りです・

1. 会長挨拶  
本年度は鐘華会総会の年、各支部の例会はない。しかし、遠隔地の東京・鹿島・九州については従来通り実施する。
2. 平成20年度会計報告  
滋賀、東京、本社支部が予算をオーバーしたが、ともに備品の購入によりものである。支部例会費用は会社負担、鐘華会負担を折半にするよう会長から指示があった。
3. 各支部活動報告及び計画  
各支部より報告がなされたが、ホームページやブログなどパソコン活用法について特に議論された。結論は出なかったが、これから対処していかなければならない課題だと認識された。
4. 平成21年度予算  
支部活動費を決めてから2年目を迎えるので予算をもとに活動計画をしっかりと決めるよう会長から指示があった。
5. 鐘華会規約改訂  
現状に照らして微調整を行った。特記事項は今年度より採用した終身会費を規約化したこと。

## 【臨時役員会報告】

◇平成21年3月25日(水)午後1時よりカネカクラブにて臨時役員会が開催された。

◇主な内容は下記の通りです。

1. 今年開催予定の第7回鐘華会総会は延期する。
2. 今まで総会開催時(5年に一度)の更新していた「鐘華会会員住所録」は作成する。  
(以上の内容については会長名で全会員に通知) 但し経費は前回までは会社負担で行っていたが、今回は鐘華会で負担する。(約150万円)
3. 支部例会は実施する。

## あしがき

- ・総会が延期になりました。カネカの21年3月期の決算が31年ぶりの赤字では、やむを得ないことだと思います。出来るだけ早くカネカの業績が回復することを切望します。
- ・上野賢二さんに「城島酒蔵びらき」の実行委員長として奮闘ぶりを投稿してもらいました。カネカでの経験が色々生きています。頑張ってください。来年は是非、皆で出かけましょう。
- ・青木さんには革ペン画で再登場をお願いし、福岡城についてその蘊蓄をご披露いただきました。
- ・永井さんの昨年秋の近況報告は「支部だより15号」に間に合わず、今号で紹介します。写真の裏に(頭が大部ウスクなりました。定年まであと2年10カ月)と書かれています。
- ・ゴルフの成績は「鐘華ニュース」に記載しますが、紅一点の常森さんは山岳コースに苦労されたようです。
- ・今年の例会は平成13年の第1回以来8年ぶりに山口を予定しています。ご期待ください。